

大阪府市場だより



第 395 号 令和 7 年 1 月 31 日
発行 大阪府中央卸売市場協会 (茨木市宮島 1-1-1 水産棟 3 階)
連絡先 TEL: (072)636-3698、FAX: 3699、メール: office@fu-ichiba.jp
U R L https://fu-ichiba.jp



絵
「カニ」

年賀交歓会を開催 府市場協会

令和7年を迎え、1月5日 事の祝辞を代読された。

の午前8時30分から大阪府 中央卸売市場協会(理事長・ 橋爪康至(株うおいち社長) 主催の年賀交歓会が令和2年 1月以来、5年ぶりに管理棟 7階講堂で開催された。

次いで、来賓代表の祝辞に

来賓として、村上正樹大阪 府環境農林水産部流通対策室 長をはじめ、福岡洋一茨木市 長、衆議院議員のはぎ原けい 氏、府議会議員の大野ちかこ 氏、うらべ走馬氏、中野剛氏 のほか4名を迎えた。そのほ かにも市場関係企業及び団体 の役員ら約80人が出席した。

はぎ原けい衆議院議員に挨拶 をしていた。 続いて、来 賓紹介の後、 株うおいち北部の川邊浩一支 社長のご発声により乾杯を行 った。和やかな雰囲気の中で の 歓談が進む

府市場協会の なか、大阪 府中央卸売 市場の東西 からのびえ場長 として、万 歳三唱が声 高らかに行 われた。



橋爪理事長 は、挨拶の中

で「令和2年8月から検討が 重ねられてきた市場再整備」 について触れられ「協会役員 各位をはじめ、場内の皆様に は、一致団結し、鋭意、検討 を進められることを願いま す。」と締め括った。

《次ページ参照》

続いて、村上正樹流通対 策室長が吉村洋文大阪府知





加工食品の表示事項
～食品表示は情報の宝庫～

「生鮮食品」と「加工食品」では表示しなければならぬ項目が異なります。今回は、加工食品の表示項目を紹介いたしますので、自社で扱う商品の表示を確認してみてください。

○名称
その食品を表す一般的な名前を表示します。固有の名前である商品名とは異なります。

○原材料名
使用している量が多い順に、食品材料と添加物で分け、一般的な名称で表示します。

また、使用している原材料に特定原材料(えび・かに・くるみ・小麦・そば・卵・乳(乳成分)・落花生)が微量でも含まれていれば、その旨を必ず表示します。

○原料原産地
原材料のうち、重量順で最も多くを占めるものの産地を表示します。生鮮食品の場合は「〇〇産」、加工食品の場合は「〇〇製造」となります。

○内容量
容器包装に入っている商品の量を表示します。重量や体積、個数で表します。

○期限表示
豆腐や洋生菓子のように日持ちしない食品には、その期限内で必ず食べきる「消費期限」を、即席麺や缶詰のように長期保管が可能な食品には、美味しく食べられる目安として「賞味期限」を表示します。

○保存方法
未開封で、期限表示の期日までその食品の安全性・品質を担保するための方法です。製造から販売まで一貫して表示されている保存方法を守りましょう。

○食品表示に責任を持つ者
「製造者」「加工者」「販売者」のいずれかで、表示責任者の所在地と法人又は個人の名称を表示します。販売者が表示責任者の場合は、製造者も併せて表示する必要があります。

○栄養成分表示
「熱量」「たんぱく質」「脂質」「炭水化物」「食塩相当量」の5項目が必須で、任意で表示項目を追加することもできます。

■表示が必要となる場合
容器包装に入れられて販売する場合には表示が必要です。また、表示間違いによる自主回収も多くなっています。

■生鮮食品?加工食品?
生鮮食品を加熱、調味し、本質を変化させると加工食品になります。また、複数種類の刺身盛り合わせや、カツ

「消費期限」を、即席麺や缶詰のように長期保管が可能な食品には、美味しく食べられる目安として「賞味期限」を表示します。

未開封で、期限表示の期日までその食品の安全性・品質を担保するための方法です。製造から販売まで一貫して表示されている保存方法を守りましょう。

「製造者」「加工者」「販売者」のいずれかで、表示責任者の所在地と法人又は個人の名称を表示します。販売者が表示責任者の場合は、製造者も併せて表示する必要があります。

「熱量」「たんぱく質」「脂質」「炭水化物」「食塩相当量」の5項目が必須で、任意で表示項目を追加することもできます。

容器包装に入れられて販売する場合には表示が必要です。また、表示間違いによる自主回収も多くなっています。

生鮮食品を加熱、調味し、本質を変化させると加工食品になります。また、複数種類の刺身盛り合わせや、カツ

市場見学

一般社団法人茨木市観光協会が主催する「いばらぎ観光ウオーク」のイベントとして、1月17日(金)「中央卸売市場・環境衛生センター見学」が開催され、参加者・スタッフ合わせて約50名が、朝9時に当市場管理棟に集合し、管理センターの案内により場内を見学した。



ト野菜ミックスなど、複数の種類の生鮮食品を混合させたものも加工食品になります。表示方法を間違えないよう注意しましょう。

【参考】
大阪府食の安全推進課「食品の表示について」



来月のお知らせ

○人権問題研修会
2月27日(木)に標記研修会が開催されます。

人権問題研修会

テーマ
「メンタルヘルスケア
職場での支援のあり方」

日時：令和7年2月27日(木)
11時～12時

場所：大阪府中央卸売市場
管理棟7階 大会議室

講師：社会保険労務士
松井 一恵 氏

主催：大阪府中央卸売市場協会

○食品衛生検査業務検討会

- 2月6日(木) 水産卸業者
- 2月18日(火) 青果卸業者
- 2月21日(金) 青果卸業者
- 2月27日(木) 水産卸業者

初荷入荷量

	前年	令和7年	
	数量(kg)	数量(kg)	前年比
野菜	463,500	440,300	95.0%
果実	158,500	136,000	85.8%
青果合計	622,000	576,300	92.7%
生鮮	88,500	86,100	97.3%
冷凍	8,800	5,100	58.0%
加工	42,200	31,200	73.9%
水産合計	139,500	122,400	87.7%

市場取扱高

12月・単月

	種類	数量(kg)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果計	野菜	10,419,169	89.7	3,024,896	108.9
	果実	4,754,386	97.1	2,571,536	110.5
	小計	15,173,555	91.9	5,596,432	109.6
水産物計	生鮮水産物	1,409,770	106.4	1,992,274	104.7
	冷凍水産物	262,097	89.6	634,959	102.4
	加工水産物	719,006	91.2	1,178,205	97.5
	冷凍食品	512,192	102.5	343,407	110.7
小計	2,903,065	99.9	4,148,845	102.7	
総計		18,076,620	93.1	9,745,277	106.5

4月・12月・累月

	種類	数量(kg)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果計	野菜	95,816,312	95.1	26,820,420	104.7
	果実	36,651,362	96.3	17,585,210	104.8
	小計	132,467,674	95.4	44,405,630	104.8
水産物計	生鮮水産物	11,779,444	104.1	13,294,728	102.0
	冷凍水産物	1,875,415	94.1	2,650,219	102.4
	加工水産物	5,897,375	93.5	8,487,102	92.6
	冷凍食品	3,376,610	105.8	2,065,991	111.5
	小計	22,628,844	100.6	26,498,040	99.5
総計		155,096,518	96.2	70,903,671	102.7

《管理センター取りまとめ》



令和7年の初競りが1月5日、早朝4時15分から行われました。

マグロの初競り



えびす祭りの様子



水産新年互礼会

標記互礼会が1月5日の午前4時30分より、水産せり場で開催されました。

杉江水産物卸協同組合副理事長の司会のもと、(株)うおいち北部川邊支社長が挨拶されました。



続いて、大阪府中央卸売市場大西場長が挨拶さ

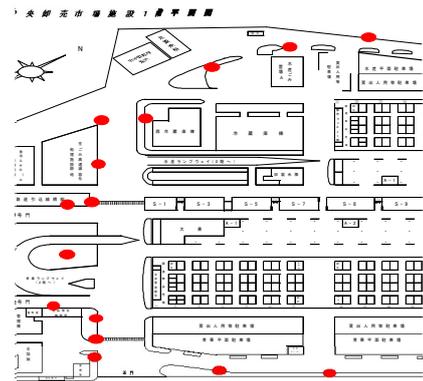


工事のお知らせ

2月3日〜21日の間、既設ケールプルの撤去を行います。下面の赤丸箇所にあるマンホールの蓋を開けて作業しますので、作業時に付近をご通行される際は、落下等にご注意ください。

その後、(株)大水北部支社花木支社長のご発声のもと、一同揃って、シユースによる乾杯が行われました。

作業時間 8:30〜17:00
工事担当 大阪府管理担当
安田 (072-636-2011)



PBL 発表会

1月7日に大阪成蹊大学経営学部食ビジネスコース2年生27名が、PBL(課題解決型学習)の成果について、同大学内で発表しました。今回のPBLでは「新しい青果売場を作ってみよう!」をテーマとし、小売店での販売促進を目指すものです。学生の皆さんは、府中央卸売市場の概要を学習するとともに、スーパーなどの青果売場を見学して調査を重ねた上で、POP作成に落とし込み、京阪百貨店すみのどの店において売り場実習を行いました。

「鍋料理」をテーマに、班ごとにテーマ野菜を設定して「雪見鍋」「トマト鍋」など特色を打ち出した上で、テーマ野菜ごとの販売促進効果も検証していました。発表会には、ご協力いただいた京阪百貨店すみの店長、(株)林田商店、大阪府より一名ずつ出席し、発表内容について講評を行いました。今回、学生の皆さんが協力して課題に取り組みれたことは、将来、食ビジネスに携わる人材として活躍していくにあたって着実な歩みになったことだと思います。

「鍋料理」をテーマに、班ごとにテーマ野菜を設定して「雪見鍋」「トマト鍋」など特色を打ち出した上で、テーマ野菜ごとの販売促進効果も検証していました。発表会には、ご協力いただいた京阪百貨店すみの店長、(株)林田商店、大阪府より一名ずつ出席し、発表内容について講評を行いました。今回、学生の皆さんが協力して課題に取り組みれたことは、将来、食ビジネスに携わる人材として活躍していくにあたって着実な歩みになったことだと思います。



(協力:京阪百貨店すみのどの店、(株)林田商店)



新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会理事長 橋爪康至

新年明けましておめでと
うございます。令和7年の年
頭にあたり、謹んで新春のお
喜びを申し上げますとともに、
旧年中に賜りましたご支
援・ご協力に心より厚く御礼
を申し上げます。

勢の方々のご参加を得て、会
員相互の親睦を深めていた
だいたところであります。

また、本日、令和2年1月
以来、5年ぶりに年賀交歓会
を開催いたしましたところ、
各社・団体の皆様に、多数、
ご出席を賜り、「コロナ禍以前
の活性を着実に取り戻しつ
つあるものと考えておりま
す。

昨年、当市場協会におき
まして、スポーツイベントや
文化祭など、場内関係者向け
の福利厚生事業を充実し、大

阪府知事 吉村洋文

さて、令和2年8月から検
討が重ねられてきた市場再

整備については、昨年3月、
それまでの検討の経過を集
約したうえで、より良い市場
づくりをめざし、3年間の継
続審議を行うこととなりま
した。

人口減少に伴う食糧需要
の変化、あるいは、猛暑や豪
雨などの食料品生産に影響
を及ぼす気候の変動、さら
に、運輸・物流を取り巻く諸
問題など、市場を巡る環境が
厳しさを増しておりますが、

「新鮮で安心・安全な新鮮食
料品を提供する」という卸売
市場の公的使命に変わりは
なく、その使命を果たすため
には、産地から選ばれる市場
であることが不可欠であり
ます。

このため、継続審議におき
ましては、当市場の恵まれた
立地環境を最大限に活かし
ながら、新鮮食料品の流通に
おける東西の物流拠点とな
ることを目指し、また、低温
化対策など喫緊の課題にも
着実に対応することが必要
であると考えます。協会役員
各位をはじめ、場内の皆様に

は、一致団結し、鋭意、検討
を進められることをお願い
します。

結びにあたりまして、茨木
市長様、はぎ原代議士様、府
議会議員各位をはじめ、ご多
忙の中、「ご出席くださいまし
たご来賓の皆様」に感謝申し
上げますとともに、引き続き
まして、私どもに対する格段
のご指導、ご支援を賜ります
ことをお願い申し上げます。

本日もご出席の皆様にとっ
て、本年が良い一年となりま
すことを心より祈念申し上
げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

大阪府知事 吉村洋文

新年、あけましておめでと
うございます。令和7年の新
春を迎え、謹んで新年のお慶
びを申し上げます。

市場関係者の皆様におか
れましては、日頃から府民へ
の新鮮食料品の安定供給に
多大なるご尽力をいただい
ておりますこと、この場をお
借りして厚く御礼申し上げます。

昨年、大阪・関西万博の
成功に向けた総仕上げとポ
スト万博を見据えた取組み
に加え、教育の完全無償化の
実現に大きく踏み出すなど、
大阪を次なるステージに飛
躍させるチャレンジを進め
る一年となりました。

いよいよ、本年4月、「いの
ち輝く未来社会のデザイン」
をテーマに、大阪・関西万博
が開幕します。

万博は、最新の技術やサー
ビス、多様な文化や価値観に

触れるまたとない機会です。
国内外の多くの方々に、新た
な発見やワクワクする楽し
さを会場で体験いただきました
と思います。

また、万博に結集した英知
をレガシーとして進化させ、
大阪の成長発展につなげて
いきます。

そして、万博の成功、その
インパクトを活かした大阪
の成長を、府民の皆様の豊か
な暮らしにつなげるべく、長
引く物価高騰など現下の課
題にもしっかりと対応してま
いります。

さて、大阪府中央卸売市場
は、今年、開設47年目を迎え
ます。当市場は、大阪の成長・
発展の基盤となる都市イン
フラとして、これまで、府民
の健康と食を支えてまいり
ました。

人口減少に伴う食料品の
消費量の減少や食品流通構
造の変化など、卸売市場を取
り巻く状況が大きく変化する
なか、生産者、実需者、ひ
いては消費者に選ばれる競
争力のある市場をめざし、市
場の活性化、機能強化に取り
組むことが重要です。

大阪府中央卸売市場が、食品
流通の拠点として、府民の皆
様に安全、安心な新鮮食料品
を安定的に供給する機能を
十分発揮できるよう、卸、仲
卸をはじめとした場内事業
者の皆様、指定管理者である
大阪府中央卸売市場管理セ
ンター株式会社と力を合わ
せて、取り組んでまいります
ので、引き続き、よろしくお
願いいたします。

結びに本年の皆様にとっ
て実り多き素晴らしい年と
なりますことを祈念し、新年
の挨拶といたします。

新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場長 大西のぶえ



新年あけましておめでとうございます。
令和7年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

市場関係者の皆さまにおかれましては、日々の新鮮食料品の安定供給にご尽力いただき、感謝申し上げますとともに、平素から大阪府中央卸売

市場関係者の皆さまにおかれましては、日々の新鮮食料品の安定供給にご尽力いただき、感謝申し上げますとともに、平素から大阪府中央卸売

市場の運営につきまして格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、物価高騰、円安などの影響が長期に渡るとともに、深刻化する人手不足や物流の2024年問題への対応など、卸売市場を取り巻く状況は依然厳しいものがあります。こうしたなかにおいて、川上（生産者）、川下（実需者）ひいては消費者に選ばれる競

争力のある市場をめざして、不断の取組みを進めることが重要です。

当市場においては、昨年、場内事業者の皆さまとともに、市場の再整備に向けた検討や、喫緊の課題である施設の低温化対策について協議を行ってまいりました。今年も引き続き、市場の活性化及び機能強化に取り組んでまいります。

また、いよいよ4月には、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が開幕します。国内外から多くの方が来場され、大阪のまちの魅力、食の魅力を体感いただくまたとない機会となります。万博開催により、更なる成長や発展を目指す大阪にとって、府民の健康と食を支える当市場の重要性は一層高まるものと考えられます。

本年も、大阪府中央卸売市場がその機能を十分発揮し、府民の皆さまに安全、安心な

生鮮食料品を安定的に供給できるよう、卸、仲卸をはじめとする場内事業者の皆さま及び指定管理者である大阪府中央卸売市場管理センター株式会社と力を合わせて、取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆さまの益々のご健勝ご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

迷走から脱却へ

大阪府中央卸売市場管理センター(株) 代表取締役

橋爪康至



新しい年を迎えましたが、昨年元日の大地震で甚大な被害に遭った能登半島被災地の復旧・復興事業は思うように進まず、更に9月には観測史上最大の記録的豪雨が追い打ちをかけ、未だ避難生活を強いられる多くの方々があり、改めて一日も早い復興を心から願います。

また、物価高に揺れた1年

でもあり、今春にかけても食品を中心とする値上げラッシュによる個人消費の落ち込みが予想されるなど市況への影響が懸念されますが、こうした時こそ市場の公的使命、とりわけ価格形成機能を十分に発揮していくことが重要です。

翻って、当社が市場の管理運営業務を担い足掛け13年になります。この間、常に市場関係者の皆様のニーズを踏まえ、スピード感をもって、効率

的・効果的な事務事業の執行に努め、これまでに6億円超の新たな原資を生み出し、市場活性化事業や維持補修事業に投資・還元してまいりました。

また、危機管理の一環として、災害時においても公的使命を発揮し、市場機能が持続できますよう防災備蓄の充実を図るとともに、この2月には利用者のプライバシー保護に配慮したマンホール直結型防災用トイレを整備します。

更に、指定管理者としての企業価値を高めるためCSR活動等社会貢献活動にも積極的に取り組んでまいります。

懸案の市場再整備につきましては、全国に類を見ない魅力ある市場となりますよう再整備検討会議始め卸4社の横断的なトップ会談を開催するなど様々な論点について検討を重ねてまいりましたが、昨年3月、府の政策判断として、再整備に伴う建設費用及び店舗移転費用等はすべて場内事業者の負担とする厳しい方針が示されました。

このスキームでは施設使用料の上限に歯止めが効かず、場内事業者の企業経営上のリ

スクヘッドが困難となるため、基本計画案を一旦リセットし、より良い市場づくりを目指して3年程度かけて継続審議することとなりました。

このため、新たに設置された青果、水産両部門における「検討会議」において、諸課題の解消に向け鋭意協議を進めていただいているところであり、検討結果を踏まえ、業界としての一定の方針を出し、迷走から脱却できるよう取り組んでまいります。

今後とも、関係各位の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とします。



コールドチェーンの一端を担う
(株) 北部冷蔵サービスセンター
代表取締役社長 巽 計廣

新年あけましておめでとう
ございます。
皆様方には健やかにお過ごし
のことと、およろこび申し
上げます。

昨年1年、皆様方には当社
の業務運営に、「ご理解とご支
援、ご協力をいただきましたこと
に心より感謝申し上げます。



再整備は原点に立ち返って
大阪府中央卸売市場管理センター(株)
専務取締役 宮前 茂

今年は60年に一度の乙巳
(きのとみ)の特別な年、新し
い挑戦や大きな転換を迎える
のに最適な年と言われていま
す。是非あやかりたいもの
です。

再整備につきましては、競
争力のある市場の実現を目指
し、そのコンセプトとして3
本の成長戦略を掲げ、府と場
内事業者が一体となって取
り組みを進めていくことと
されているところ、府の政策
判断として再整備費用や将
来リスクはすべて場内事業
者(市場会計)の負担とされ、
現行の税金投入制度は適用
しないという厳しい方針が

さて2024年を振り返りますと
スポーツ界では大谷翔平選手
がメジャーリーグで史上初の
「50-50」を達成したり、パリ
オリンピックやパラリンピック
では日本人アスリートの活
躍があったものの、元日の能
登半島地震に追い打ちをかけ
るような水害などがあり、ま
た世界中で行われた選挙では
示されました。

民主主義の形骸化が起き、紛
争など暗い話題も多い1年で
ありました。
また夏の猛暑による野菜の
高騰、円安による輸入水産物
の高値や天然魚の減少など市
場にとっても困難な年でもあ
りました。そんな中、当市場で
は市場の建て替えや、水産棟
の低温化を図る大規模改修の
話が進んでおりますが現状コ

ールドチェーンは物流におい
て必要不可欠であり、できて
いるのが当たり前の時代とな
っており、その一端を担う当
社としましては、より一層業
務に励み市場のコールドチェ
ーンの充実に努めてまいりま
すので開設者様、管理センタ
ー様、お客様各位のご理解ご
協力を賜りますようお願い申
上げます。

これでは毎年十数億円もの
税金が投入されている大阪市場
始め近隣市場に対して大き
なディスアドバンテージとな
り対等の勝負は叶わず、競争
力が低下することは明らかで
す。
府市場は川上・川下の数千
万の人々の生活に関わり、府
民の食を支えるなど教育・福
祉行政等に負わず劣らず重要
な公的使命を發揮し、市場関
係者は誇りを持って業務を遂
行していますが、府の政策上
の市場ステータスが低下する

のではないかと杞憂します。
また、このスキームでは場
内事業者の企業経営上のリス
クハッジが困難となるため、
諸課題を更に精査するため、
3年程度かけて継続審議する
こととされ、新たに青果・水産
検討会議(府はオブザーバー)
を設置し検討が進められてい
ます。

新市場へのワクワク感が薄
れ不安が募るばかりですが、
一致結束し、あるべき姿を目
指してまいりたいと存じます
ので、市場関係者の皆様方の
一層のご支援をお願い申し上
げます。



奉納祈願

商売繁盛を祈念して、1
月9日の早朝、茨木恵美須
神社に、招福大マグロ(大
庄水産(株)提供)と青果物(メ
ロクイン、玉ねぎ、白菜、りんご
みかん)(青果卸売協同組合
提供)を奉納しました。
奉納品は午前7時に、

茨木恵美須神社の拝
殿に運び込みまし
た。奉納式では関係
者約20名が参列の中、
お祓い、祝詞に続いて
代表者(大庄水産(株)の
山口社長、青果組合の
西田理事長)が玉串を
奉奠し、全員で商売繁
盛を祈願しました。



宝恵籠の場内練歩き

地元茨木神社の恵美須講の
福娘6人をはじめ「宝恵
籠」一行約40人が来場しま
した。まず、今村恵美須講
元から訪問の挨拶があり、
次に大西場長が一行に歓迎
の挨拶をされました。
打ち鳴らされる太鼓と鉦
に合わせ、「商売繁盛で笹も

つてこい」の掛け声を響か
せながら、青果卸売場から
水産卸売場を練り歩しまし
た。
ご祝儀の申し出の際に
は、福娘から奉納者に「福
笹」と「福餅」が手渡され、
今年一年の「招福来幸・商
売繁盛」を祈念して関係者
全員で一本締めが行われま
した。
《次ページを参照》



新しい時代への対応

株 大水 執行役員
北部支社長 花木章男

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に旧年中に賜りましたご厚情に御礼申し上げます。

島で大地震が起こり、多くの方々が被災されました。あらためて、お亡くなりになられた方々には謹んでお悔やみ申し上げますとともに被災地の皆様に心よりお見舞い



未来の市場に向けて

大阪府青果卸売協同組合
理事長 西田景典

令和7年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は能登半島地震や大雨特別警報が発令されるような豪雨など自然災害による被害

が発生し、多くの尊い命が失われました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されました方々に謹んでお見舞い申し上げます。



売り場の低温化の 具現化に向けて

大阪府水産物卸協同組合
理事長 榎本昭弘

明けましておめでとうございます。

コロナ禍による業績不振が十分に回復しない中、海水温の上昇、資源管理による漁獲量の制限、近隣国による乱獲、漁業の担い手不足等により漁獲量が減少する一方、高値に

よる消費の落ち込みなど様々な要素が絡み合っており水産業を取り巻く環境は一層厳しさを増し、仲卸業者の経営環境も依然厳しい状況にあります。この下、組合員が一致団結し、それぞれの立場で懸命の経営努力をされ、事業が継続

申し上げます。

一方、海外では、ロシア・ウクライナ、中東の紛争はじめ、地政学的な情勢不安が募っています。我が国も、世界情勢に大きく左右され、円安も絡み、全ての物価が上昇する等、混沌とした状況に陥っています。

我々水産業界においても同様、円安、物価上昇、酷暑、水揚減少等々の影響を受け、非

この自然災害によって青果業界では、浸水や土砂崩れによる農作物への被害、気候変動による異常気象が頻発するなど生育不良や不作といった被害もあり、農作物の価格が高騰し、我々、仲卸業者だけでなく消費者の家計にも厳しい状況となりました。今後、農作物の安定供給を目指して産地等と協力し、変動する環境を予測し、災害に備え、可能な限り被害の最小化と迅速な復興

常に厳しい一年となりました。この様な中、府市場は、再整備に対する検討が2年目に入りますが、我々水産部としては、近年の酷暑に対応する水産物低温設備の充足を喫緊の課題とし、大阪府・管理団体の協力を仰ぎ、対策を立案中です。我々は、この混沌とした時代においても、目の前、将来に向けての課題・問題を認識

し、迅速な対応を図り、安心安全な水産物の安定供給を目指してまいります。結びに、本年も皆様方には変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

できていくこと、誠に喜ばしく思います。

ただいているところでありませ

今年も食品の値上げなどによる魚離れが見込まれるなど厳しい状況が続きますが、魚食や販路の拡大が図れますよう川上・川下との一層の連携強化に努めるとともに組合員の權益を守ってまいります。市場の再整備につきましても、検討会議の場において組合員の代弁者として様々な提言を行ってまいりましたが、府において、整備費や各店舗等の移転も含め公金は一切投入しないとの厳しい方針が

示されましたことを踏まえ、計画案を一旦リセットし、当面3年間の継続審議とされましたことから、改めて水産部門の検討会議を設置し、使用料の抑制も含めた諸課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。

本年も組合員始め関係各位の一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



努力が実る一年に
大阪北部中央青果(株)
代表取締役社長 三木博司

新年あけましておめでとう
ございます。
謹んで新春のお慶びを申し上げ
ますと共に、旧年中に賜
りました格段のご支援、ご協
力に心より厚くお礼を申し上
げます。

昨年は元旦の能登半島地震
や日向灘でのM7.1の地震、夏
季に集中した台風や大雨災害
等、記録的な災害が多く発生
しました。
国内外情勢を見ると、ロシ
アによるウクライナ侵攻長期

化や中東情勢の緊迫化、南シ
ナ海での領有権問題等、各地
での紛争が深刻化しています
。また、欧米主要国やロシア、
台湾等での相次ぐ選挙や国内
衆院選での与党大敗など、正
に激動の一年でした。
青果物の流通においても、
昨年は記録的な猛暑により、
多品種にわたって前年比二、
三割値上がりする等の影響が
出ました。
また、最低賃金の上げ幅が

過去最高となった他、物流・運
送業界での時間外労働の上限
規制等によりコスト面での課
題が顕在化しました。
今年はいよいよ大阪・関西
万博が開催されますし、昨年
来のインバウンド需要の益々
の拡大も期待されるところで
あります。
今年の干支は「乙巳(きのと
み)」で、「努力を重ね、物事を
安定させていく」という意味
合いを持つとされています。

弊社を取り巻く環境も引続
き厳しいものとなりますが、
焦らず日々粘り強く努力して
いくことで良い成果が得られ
る一年にしたいと思っております。
年頭にあたり、皆様のご健
勝、ご多幸をお祈り申し上げ
ますと共に、尚一層のご指導
ご鞭撻を賜ります様、お願い
申し上げます。



進化
大果大阪青果(株) 専務取締役
北部支社長 酒井孝博

新年明けましておめでとう
ございます。令和7年の新春
を迎え謹んでお慶び申し上げ
ます。

昨年は元旦の能登半島地
震、9月の豪雨災害など先の

災禍より一日も早い復旧・復
興を心より願っています。
海外ではロシア・ウクライ
ナ問題、中東問題など不安定
な状況が未だ続いています。
一月に就任するアメリカ合衆

国トランプ大統領の手腕で平
和の実現へと願ってやみませ
ん。
国内では、円安ドル高基調
ではあるがインバウンド需要
の回復、最低賃金のアップ等、
個人消費は緩やかではあるが
回復基調にあると認識してい
ます。今年は大阪・関西万博4
月13日から184日間、世界・日
本国内から多くの方々が来阪
され大阪・関西の良さをアピ

ールし持続的成長につなげ大
成功で10月13日を迎えたいと
思います。
青果業界に於いては一年間
を通じての異常気象、特に夏
場の猛暑が影響し生産予想量
を大きく下回る結果となりま
した。産地では高齢化・後継者
不足に伴い生産量減少傾向が
続くと思われ、国産国産を推
進し魅力ある農業として生産
量減少に歯止めをかけられ

ばこの思いです。
市場再整備に関して「今後
の市場あり方検討会」にて協
議をしています。将来に向け、
又持続的な北部市場発展の為
にも、市場関係者の皆様方と
共に協力して参ります。
今後とも尚一層のご指導・
ご鞭撻を賜りますようお願い
申し上げます。



課題へのチェレンジ
(株)うおいち 執行役員
北部支社長 川邊浩一

新年あけましておめでとう
ございます。
令和7年の新春を迎え、謹
んで新年のお慶びを申し上げ
ます。

2024年を振り返ります

と、コロナ禍からの回復を果
たしつつ、ロシア・ウクライナ
戦争によるエネルギー価格の
高騰などによる世界的な物価
上昇や、台湾有事への危機感、
パレスチナ問題などの地政学

的リスクといった、新たな課
題に直面しています。
また、企業の収益改善や賃
上げの動きがみられる一方で
、国内消費には安定性が乏し
い1年であった印象です。
水産業界においては、「漁場
環境の悪化、漁獲量の乱獲に
よる漁獲量の減少」「食の多様
化による魚介類の国内需要の
落ち込み」「人手不足」「人件費
や物流コストの増加等による

物価上昇圧力の強まり」など、
抱える問題は多くあり、加え
て世界的には、魚介類の需要
は高まっていることから、国
内需要が低下し、海外への輸
出が優先され、更なる国内需
要の低下を招くことが懸念さ
れます。
北部市場の低温化問題、市
場全体の活性化等、北部市場
における課題に対し、関係者

んでいく所存でございますの
で、関係各位の皆様には、引き
続きご指導ご鞭撻を賜ります
よう、お願い申し上げます。

